

# 働き方を「見える化」しませんか！

PR用

働き改革は、働く人の健康で安全な職場を築くための取り組みです。

働き方改革は、

「働く人」が、健康で安全に働くことは、働く人のスキルアップや企業への信頼性の向上

「企業」の技術やノウハウの伝承や生産性の向上

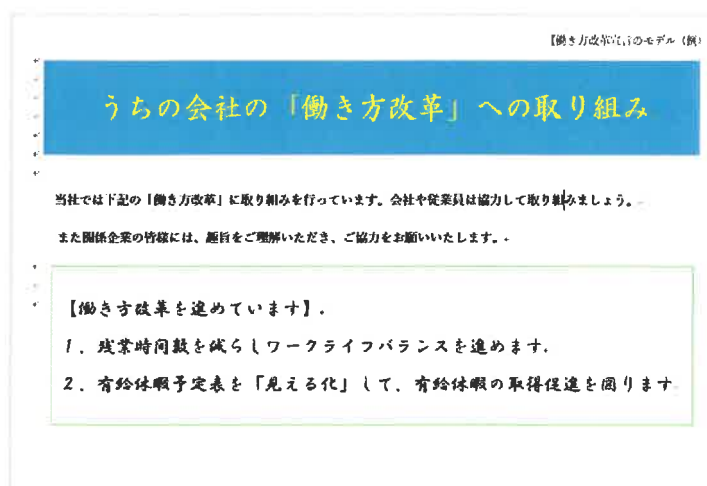
「ご家族」の安心やワークライフバランスの実現

など、働く職場環境を良好に維持し増進するものです。

皆様が取り組んでいることを、従業員に「見える化」して、労使が協力して進めてみませんか！



【三角柱によるモデル例】



【働き方改革宣言のモデル例】

従業員への「見える化」の方法には、いろいろありますが上記の例を参考の上、「見える化」を進め、お互い理解して、取り組む方法が効果的と考えられます。また、関係業者に対する協力・支援のツールともなります。

【企業の働き方改革の取り組みの標語の参考例】⇒各社の取り組みを表示してみませんか

- 残業を減らしています⇒「会議時間を短縮し、時間外労働時間を減らします」「打ち合わせを「見える化」して、業務の効率化を図ります」「作成する書類の簡素化・共有化を図り、業務の効率化を進めます」「時間管理を細目を実施して従業員の健康管理を進めます」etc
- 有給休暇を取りやすくします⇒「有給休暇予定表を『見える化』して、有給休暇の取得促進を図ります」「職場がバックアップして有給休暇促進をサポートします」「仕事の ON・OFF を意識し有給休暇の取得を促進します」etc
- 同一賃金に取り組みます⇒同一労働の賃金格差をなくします etc
- 深夜労働時間を減らし、インターバル(勤務と勤務の生活時間や睡眠時間を確保すること)制度を導入します etc

なお、これらの資料等については、本日配布の資料または(一社)塩那労働基準協会HP「働き方改革「見える化」」からダウンロードして活用してください。

大田原労働基準監督署・一般社団法人塩那労働基準協会

【問い合わせ先】大田原労働基準監督署 (☎ 0287-22-2279) (ファクス 0287-22-3460)